

研究課題番号	S-15-1
研究課題名	社会・生態システムの統合モデルの構築と科学-政策インターフェースの強化
研究実施期間	平成 28 年度～令和 2 年度
研究機関名	東京大学
研究代表者名	武内 和彦

#### 1. 委員の指摘及び提言概要

中間評価から全国モデルは格段に進捗が見られる。人口、土地利用の2軸を核として4ケースの将来シナリオを構成し、このデータを陸・海・社会の各分野に渡して、それぞれの分野でどのような現象が生まれるかを統一的な視点から分析し、統合モデルを積極的に開発して実装するアプローチを目指した点は評価できる。陸域、海域、価値・ガバナンス・包括的福利の全体をカバーする「統合化」にはまだ課題が残されている印象がある。気候変動対策と生態系保全のトレードオフ解析は環境政策への貢献が大きい。アジア展開について、日本的アプローチの普遍性、特殊性、適用可能性などを明快にしてもらえると有用だと思われる。

#### 2. 採点結果

評価ランク：S